

第3回 福山市都市マスタープラン検討委員会 議事要旨

1 日 時

2025年(令和7年)7月7日(月)19時00分

2 場 所

福山市役所議会棟 4階 理事者控室

3 出席者(委員)

広島大学	教授	田中 貴宏
呉工業高等専門学校	教授	神田 佑亮
福山市農業委員会	会長職務代理	岡本 卓也
福山商工会議所	専務理事	小林 仁志
福山市商工会連絡協議会幹事商工会神辺町商工会	事務局長	藤城 敏生 (代理)
福山市自治会連合会	常任理事	大畠 功之
社会福祉法人福山市社会福祉協議会	課長	竹廣 陽子
社団法人広島県宅地建物取引業協会福山支部	福山支部長	浅利 清
市民委員		田村 晃宏
市民委員		土居 稔弘
国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所	副所長	杉原 義和
広島県東部建設事務所	次長	山口 純
福山市建設局	局長	市川 清登

4 議事一覧

- (1) 第2回福山市都市マスタープラン検討委員会の振り返り
- (2) 将来の都市構造(案)
- (3) 都市整備の基本方針(案)
- (4) 次期福山市都市マスタープランの骨子(案)
- (5) 今後の流れ
- (6) その他

5 議事の概要

(1) 第2回福山市都市マスタープラン検討委員会の振り返り

- ・第2回福山市都市マスタープラン検討委員会における各委員からの意見について振り返りを行った。

【委員からの主な意見】

- ・意見無し

(2) 将来の都市構造（案）

- ・次期福山市都市マスタープラン策定に向けて将来都市構造（案）について確認した。

【委員からの主な意見】

- ・生活拠点の設定について、選定の仕方を教えてもらいたい。

(3) 都市整備の基本方針（案）

- ・次期都市マスタープランで掲げる都市整備の基本方針として、特に重要となる、「土地利用」「市街地整備」「道路・公共交通網整備」の3項目について確認した。

【委員からの主な意見】

- ・インフラ整備と並行してどのようにまちをコンパクト化し、周辺部の住民を中心部へ誘導するのか、具体的な方法を教えてもらいたい。
- ・20年後を見据えたまちづくりは、人口減少を前提に考えているのか。まちの発展と人口減少の考え方が矛盾しているのではないか。
- ・災害リスクの高い区域を市街化調整区域に編入するのは、本来の市街化調整区域の目的とは異なるのではないか。
- ・市街化調整区域の土地利用を柔軟にするだけでなく、コンパクトシティの考え方に合わせて、市街化区域を集積地の周辺にも広げることを検討すべきではないか。
- ・福山市では、人口減少により商業や居住の維持が難しくなることを踏まえ、一定の人口密度を保ち、効率的なインフラ整備や維持管理のため、都市のコンパクト化が不可欠だと考える。
- ・福山市が今後も工業都市として発展するために、現段階で工業用地や道路ネットワークの在り方を明確に示し、住宅地や商業地だけでなく工業分野にも配慮した土地利用計画が必要である。また、高速道路との接続強化についても、現状の道路ネットワークの課題を整理し、市街化区域の見直しや他の計画との整合なども含めて、十分な議論と検討を行うべき。

- ・都市基盤への投資が行われている地域の再生や活用に関する具体的な方針が分かりにくい。鉄道駅周辺の高いポテンシャルを活かして積極的な市街地整備や住環境の創出を進めるべき。
- ・基盤整備ができている東部の住宅団地エリアは今後どうしていくのか。
- ・人口減少下で新たに開発するエリアの今後の整備方針も議論が必要と考える。高い発展の可能性を持っているエリアの特性を活かした検討を求めたい。
- ・人口減少が進む中で、市街地における「適切な人口密度」とは何か。
- ・働く場所と住む場所の関係、工業地域の配置なども十分に考慮すべきで、拠点や発展地域を明確に示すことで、市民に分かりやすい方針を提示する必要がある。
- ・福山市にはポテンシャルがある地域が多く、特に松永のような場所は、民間任せでは限界がある。行政が積極的に関与し整備や投資を明確に打ち出すべき。
- ・ポテンシャルがある地域について可能性や課題を洗い出し、それらを結びつけて都市マスタープランの骨格を作るよう、プロセスの再検討を求める。
- ・南北の道路整備と公共交通機関の活用をどう両立させるかが重要と考える。方針や目的をはっきりさせて施策を絞り込むべき。

(4) 次期福山市都市マスタープランの骨子（案）

- ・次期都市マスタープランを取りまとめるにあたって、整理した骨子（案）の目次と目次ごとの要旨について確認した。

(5) 今後の流れ

- ・今後の検討委員会の開催スケジュールおよび都市マスタープラン改定のスケジュールについて確認した。

【委員からの主な意見】

- ・都市づくりの理念や目標が明確になっていないまま議論が進んでいることに懸念がある。このままでは今後の具体的な議論に支障が出るのではないかと。

(6) その他

- ・特になし。

以上